

中2国語 出題のねらいと対策

1 漢字の読み書き 56.8%

ねらい：漢字の正しい読み書きがしっかりとできるかを問う。

分析と対策：漢字は、練習して覚えた分だけ点数になる分野です。しっかり読み書きの練習をしておきましょう。

「弾」は、「はず(む)」、「ひ(く)」と、送り仮名によって読み方が変わるので注意が必要です。「割く」は、「裂く」と混同しないように、意味の違いを覚えておきましょう。

2 ことわざ・慣用句 48.7%

ねらい：ことわざ・慣用句についての知識を問う。

分析と対策：自分の知らないことばが出てきた場合には、その都度、辞書で調べるということを習慣づけましょう。慣用句には、「舌を巻く」、「目に入れても痛くない」、「歯に衣着せぬ」などのように、身体の部分を使ったものが多いということも覚えておくとよいでしょう。

3 説明的文章の読解 53.5%

ねらい：説明的文章を読み取る力についての定着度を問う。

分析と対策：本文全体を通して筆者は、自己の責任において考え、行動する態度がない日本人の国民性を批判的に述べています。説明文は、論旨をしっかりと読み取ることで、問題が解けていくものです。このことをしっかりと念頭に置いた学習が望まれます。接続語の空所補充の問題です。まず、選択肢の一つ一つの接続語についてその働き

を確認し、あらためて、本文中の空欄前後のつながり方を検証してください。

文脈の中でことわざの意味を考える問題です。ひとりだけとび抜けることが許されない日本社会の特質に合ったものを選びましょう。文章の要旨の読み取りができていようかどうかを確認する問題です。一つ一つの選択肢をしっかりと吟味しましょう。

4 文学的文章の読解 57.8%

ねらい：登場人物の会話や動作から読み取れる心情や、描かれている場面の把握がしっかりとできているかを問う。

分析と対策：この文章は、大学教授の主人公頼子とその教え子たちとのやりとりを中心に展開してゆきます。言葉で教えるということにもどかしさを感じている頼子の心情を読み取りましょう。

「山」を擬人化した表現の意味をとらえる問題です。また、も、比喩表現の意味を考える問題です。文学的文章や韻文の読み取りでは、たとえによる表現の意味をしっかりととらえることが必要です。指示語の指示内容をとらえる問題です。このような問題では、答えとなることばを見つけたあとに、実際に指示語の部分にそれをあてはめ、文意が通るかどうかを確かめるという作業を忘れないようにしましょう。

表現上の特色を考える問題です。文章全体を通して、どのような叙述の仕方がされているかを考えましょう。

全体の平均点は54.3点です。大問別テーマのうしろの数字は、全体の大問別正答率です。個人成績表を見ながら、不得意テーマに対する今後の学習の方針を見つけましょう。